

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和6年度技術情報第6号（チャの新芽病害虫；チャノホソガ，炭疽病）について（送付）

下記のとおり取りまとめましたので，周知及びご指導をよろしくお願いいたします。
なお，本情報は，病害虫防除所ホームページ（<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujosho/index.html>）にも掲載しています。



令和6年度技術情報第6号

チャノホソガ成虫の発生ピークが平年より早くなっている。また，炭疽病が発生しやすい気象条件が続いている。両病害虫とも，二番茶の新芽生育期における防除適期を失ないように注意する。

1 対象病害虫 チャノホソガ，炭疽病

2 対象作物 チャ

3 発生状況等および防除上注意すべき事項

チャノホソガ

(1) 発生状況

ア 4月中旬の巡回調査での発生ほ場率は18%（平年9%）と高く，1㎡当たり巻葉数は0.3葉（平年0.1葉）と多かった。また，南九州市知覧町のフェロモントラップにおける越冬世代の成虫発生ピークは平年より2週間程度早く，第一世代の成虫誘殺数も平年より早く，増加している（図1）。

イ 気象庁の1か月予報では気温が高いと予想され，今後とも成虫発生ピークは平年より早くなると予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 成虫発生期と二番茶の新芽生育期が合う茶園では，二番茶の萌芽～1葉期までに薬剤防除を行う。

イ 二番茶期は，萌芽から摘採までの期間が短いので，薬剤の使用時期（摘採前日数）に十分注意する。

ウ 本虫のIGR剤及びジアミド系薬剤に対する殺虫効果が低下している地域もあることから，地域の栽培暦に従って薬剤を選択する。

炭疽病

(1) 発生状況

ア 一番茶の伝染源となる越冬葉での発生ほ場率は61%（平年55%）と平年並であったが，4月の平均気温が高く，降雨日数が多かったことから，今後，一番茶残葉での発病が増加すると予想される（表1）。

イ 気象庁の1か月予報では気温が高く，降水量も平年並か多いと予報されており，今後も本病の感染に適した条件が継続するとみられる。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 一番茶の摘採残葉での発生に注意し，発病葉の多いほ場では二番茶芽の萌芽～1葉期に防除する。

イ 二番茶期は，萌芽から摘採までの期間が短いので，薬剤の使用時期（摘採前日数）に十分注意する。また，多発の続く茶園では，二番茶後に整・剪枝（深刈り等）により伝染源を除去する。

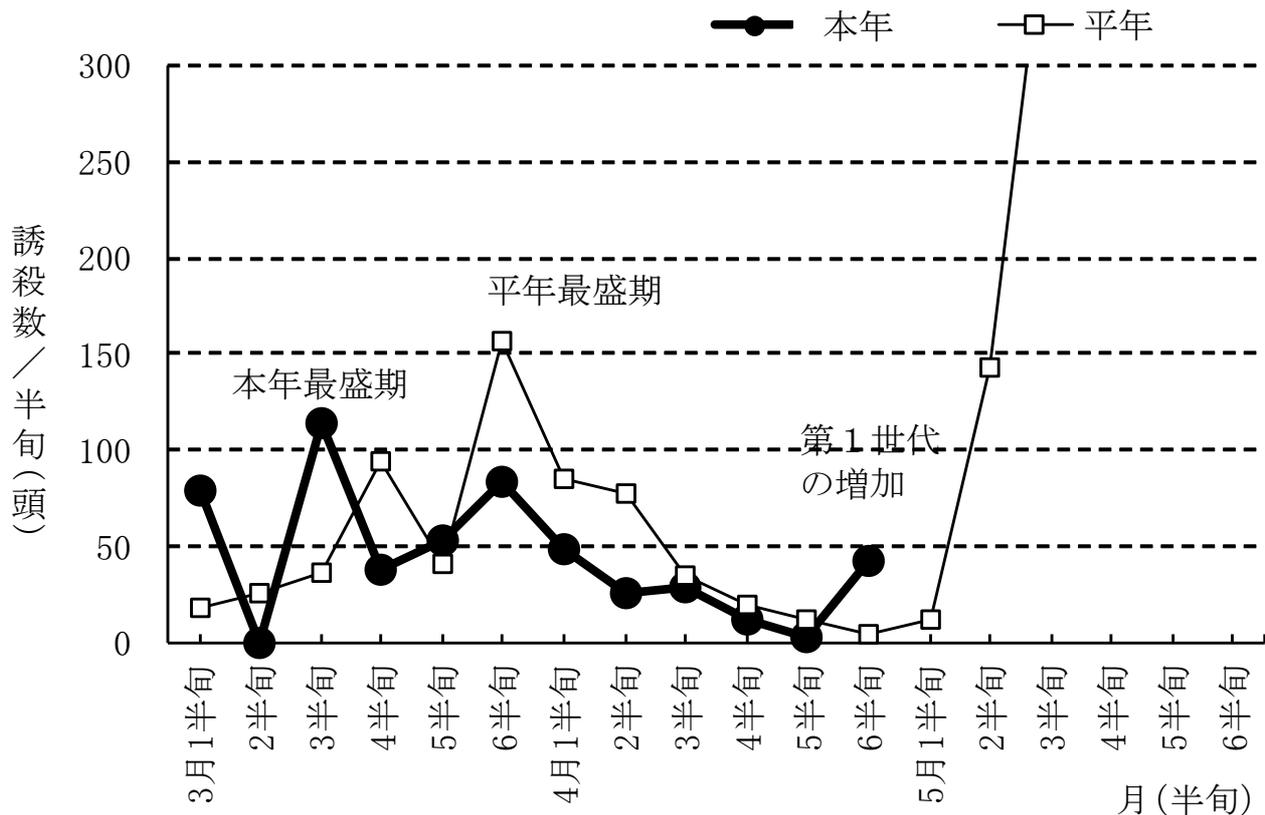


図1 チャノホソガ成虫のフェロモントラップ誘殺数 (南九州市知覧町)

表1 4月の平均気温と降雨日数

| 地点 | 日平均気温(℃) | | | 降雨日数(日) | | |
|-------|----------|------|-----|---------|------|-----|
| | 本年 | 平年 | 平年差 | 本年 | 平年 | 平年差 |
| 枕崎 | 18.8 | 16.5 | 2.3 | 18 | 9.9 | 8.1 |
| 加世田 | 18.8 | 16.3 | 2.5 | 20 | 10.7 | 9.3 |
| さつま柏原 | 17.8 | 15.1 | 2.7 | 17 | 10.8 | 6.2 |
| 溝辺 | 17.2 | 14.5 | 2.7 | 16 | 11.1 | 4.9 |
| 鹿屋 | 18.7 | 16.0 | 2.7 | 18 | 11.1 | 6.9 |
| 志布志 | 18.2 | 15.8 | 2.4 | 17 | 10.5 | 6.5 |
| 平均 | 18.3 | 15.7 | 2.6 | 17.7 | 10.7 | 7.0 |

※気象庁アメダス, 特別気象観測所データ, 平年: 1991~2020年の平均値